

平成17年2月16日
第050216-003

試験報告書

依頼者 株式会社スケッチ 殿

検 体 本報告書中

試験項目 抗菌性試験

当社に依頼された上記検体について
試験した結果は次の通りです。

触媒化成工業株式会社
抗菌剤管理責任者
相澤 誠

1. 目的

抗菌剤処理製品の抗菌性について評価した。

2. 検体

試験片：

No.1：①VOC フォーアガード

No.2：②フォーアガード

No.3：③リフレッシュコート

No.4：①VOC フォーアガード 洗濯10回

No.5：②フォーアガード 洗濯10回

No.6：③リフレッシュコート洗濯10回

3. 測定方法

抗菌性試験（統一試験法）

“繊維製品の定量的抗菌性試験方法 J I S L 1 9 0 2”に従った。

試験菌：肺炎桿菌 (*Klebsiella pneumoniae* NBRC13277)

黄色ぶどう球菌 (*Staphylococcus aureus* NBRC 12732)

栄養：1/20濃度のニュートリエントブロス*

測定方法：バイアル瓶に試料0.4gを入れて、菌懸濁液（界面活性剤 Tween80, 0.05%

添加）0.2mlを滴下し、37℃で18時間培養後、洗い出し、生菌数を

測定した。 *肉エキス、150mg/L+ペプトン、250mg/L

4. 測定結果 (n = 2の平均値)

肺炎桿菌

植菌数 [A]	1.3×10^5	Log A	5.1
無加工布菌数 [B]	3.4×10^7	Log B	7.5

$$\text{Log B} - \text{Log A} = 2.4 > 1.5 \quad (\text{試験は有効})$$

$$\text{静菌活性値} = \text{Log B} - \text{Log C}$$

$$\text{殺菌活性値} = \text{Log A} - \text{Log C}$$

検体	生菌数	Log C	静菌活性値	殺菌活性値
No.1	$< 10^2$	< 2.0	> 5.5	> 3.1
No.2	$< 10^2$	< 2.0	> 5.5	> 3.1
No.3	$< 10^2$	< 2.0	> 5.5	> 3.1
No.4	$< 10^2$	< 2.0	> 5.5	> 3.1
No.5	$< 10^2$	< 2.0	> 5.5	> 3.1
No.6	$< 10^2$	< 2.0	> 5.5	> 3.1

* 抗菌防臭加工は静菌活性値が2.2以上で合格

* 制菌加工は殺菌活性値が0.0以上で合格

4. 測定結果 (n = 2の平均値)

肺炎桿菌

細菌数 [A]	2.3×10^5	LogA	5.4
無加工細菌数 [B]	1.1×10^7	LogB	7.0

$$\text{LogB} - \text{LogA} = 1.6 > 1.5 \quad (\text{試験は有効})$$

$$\text{静菌活性値} = \text{LogB} - \text{LogC}$$

$$\text{殺菌活性値} = \text{LogA} - \text{LogC}$$

検体	細菌数	Log C	静菌活性値	殺菌活性値
No.1	$< 10^2$	< 2.0	> 5.0	> 3.4
No.2	$< 10^2$	< 2.0	> 5.0	> 3.4
No.3	$< 10^2$	< 2.0	> 5.0	> 3.4
No.4	$< 10^2$	< 2.0	> 5.0	> 3.4
No.5	$< 10^2$	< 2.0	> 5.0	> 3.4
No.6	$< 10^2$	< 2.0	> 5.0	> 3.4

* 抗菌防臭加工は静菌活性値が2.2以上で合格

* 制菌加工は殺菌活性値が0.0以上で合格